



ヒガンバナ：赤



ヒガンバナ：白

# Aigo～愛護～

～第9号～11月15日～

私の公園自慢

## 明石町公園愛護会

～前号に続いてインタビューを掲載します。～

「協力者が多い事に感謝しています。」取材の中での会長のお言葉です。近所の方が花がら摘みや、水遣り等、愛護会会員外の方も協力してくださるそうです。自分の家から、花苗を譲ってくださる方もおられます。

春は桜、夏は木陰が多く涼しいため、午後は最高の憩いの場となります。秋はケヤキの紅葉と、前号でも御紹介させていただいたように季節感のある明石町公園。実は、以前は散らかり放題でした。



心がけているのは、「せまくても安全な公園です。」とおっしゃる明石町公園愛護会長と会員のOさん。空缶のポイ捨て等心ない不法投棄への対応も、看板の林立では、悲しいものがあります。左の写真は、6月6日に撮影したのですが、その後、七夕まつり期間中に、お花が踏まれてしまい、街なかにある公園愛護会の方々の御苦労がしのべれます。

犬猫の糞尿による被害、ホームレスや駅前各種行事による外からの公園利用者（侵入者？）、ゴミの放置や花壇、遊具に対する乱暴な扱いへの対策等々明石町公園愛護会の挑戦はまだまだ続きます。効果的なお掃除の時間帯を考慮しつつ、毎朝お掃除をされる際、広場の地面に「掃き目」をつけておられるとのこと。そうすることで『(公園が)きれいなになっていると汚してはいけない』という気持ちを公園利用者者に芽生えさせているのです。利用者のマナー向上には忍耐と時間がかかりますが、このような日々の努力が着実に実を結んできています。しかし、会長に気負ったところは全くなく、最後にこう結ばれたのが印象的でした。「公園ってみんなそうなのかな～って思ってるの。。。」



モミジ



## 羽衣公園愛護会

## ～オカメインコちゃんの事～



パートナーを偲ぶオカメインコちゃん

去る5月29日市役所みどり公園課に1本の電話がありました。内容は「羽衣公園の鳥小屋の中の鳥が怪我をして血を流している。ひどく辛そうで見ている気が毒です。」というようなものでした。平塚市のみどり公園課では通常平日の午前中は、毎日職員が各公園のパトロールに出ています。パトロールは、市内都市公園の中で257箇所に対してあがってくる日々の要望事項を、なるべく早目に現地に赴き、状況を確認して、対応させていただき

に行っているもので、その数は年間で1000件を越えます。この日は午後

もパトロールに出ている職員がいましたので、この電話の用件は、すぐにパトロールの職員に伝えられ、職員は羽衣公園に向かいました。「公園に鳥小屋？」と思われるかもしれませんが、市内には鳥小屋のある公園が2園あります。一つは大久保公園、もう一つが羽衣公園です。(他に総合公園もありますが。)羽衣公園の鳥小屋の中には、セキセイインコが数十羽の他に、1組のオカメインコがいました。職員がたどり着くと鳥小屋の金網にすがる様にして血を流してとまっているオカメインコが1羽いました。目を明けたり閉じたりしながら、息をするのもやっと、といった感じです。市役所に通報してくれたお母さんとお子さん、お友達も周りに集まってきてくれました。とにかく病院に連れて行って獣医さんに診てもらおう、という事になり、オカメインコを保護しました。しかし、小鳥を診察してもらえる動物病院は限定されてしまい、なかなか見つからず、車で鳥を診てくれる獣医さんを探しながら移動しました。そこで、近隣市で最も近くにある獣医さんに急患でお願いすると何とか診ていただく事が出来ました。怪我の原因は不明でしたが、鳥小屋の外から危害を加えられたものではない事から、獣医さんによれば、鳥同士のケンカという事も考えられるということでした。獣医さんは痛み止めの麻酔やレントゲン、傷の縫合、元気を付けるための注射、飲み薬等人間に対するのと同じ手当を施してくださいました。「人間で言えば、失血に(出血多量)よるショック状態ですので、回復の見込みは薄いでしょう。」との獣医さんのお言葉でした。このオカメインコちゃんは、残念ながら手当した翌朝、亡くなりました。パートナーのいる羽衣公園に埋葬してあげるのが、一番安心するでしょうから、ということになり、その翌日オカメインコちゃんは羽衣公園の鳥小屋の近くに埋葬されました。(当該地域のお子様にご覧いただきありがとうございますので、表現を多少和らげてあります。)



イチョウ

## Q&A こんな時どうしたらいいのですか



～公園のお世話をされていて分からないこと～

Q：公園で犬の散歩をしてもいいの？

A：犬の散歩は、いくつかのルールを守っていただければ問題ありません。

現在、神奈川県や平塚市のさわやか条例では、犬等の糞は持ち帰ること、公共の場所で犬を散歩させる時はリード等で係留（コントロール）することが義務づけられています。しかし、最近は『犬の糞を持ち帰らない』『リード等をつけずに散歩をする』という飼い主が多く見受けられ、結果として、公園の景観を損ねてしまうほど多数の看板をつける等して、注意をしなければならぬ状況になっています。糞は不快感を与えるとともに衛生的にも非常によくありません。また、動物の好き嫌いは個人によって大きな差があり、犬にリードをつけずに散歩をする事は、犬の苦手な方にとっては苦痛を与えることにもなりかねません。現在は非常に長いリードも販売されていますが、飼い主がコントロールできる長さで使用してください。

公園はみなさんの場所ですので、多くの人が快適に利用できるように、ルールを守って使用していただきたいと思います。



## Aigo～愛護～次号は1月発刊です！



この会報は、会員皆様の各公園を「私の公園自慢」のコーナーで紹介しています。日頃の清掃や花壇の手入等、写真や記事を募集しています。次号に掲載するには19年12月28日がメ切です。

**出張取材にも伺います。お電話お待ちしております！！**



秋の七草：ハギ・ススキ（オバナ）・クズ・ナデシコ・オミナエシ・フジバカマ・キキョウ

みなさんでこの会報に色をつけてください

公園愛護会に所属の会員の方々の力をお借りして、内容をより充実したものにしていきたいと思っています。

- 公園や緑、花が大好きな方
- 会報を作ってみたい方
- まちづくりに興味のある方

誌面づくりに参加いただける方を随時募集しています。（メールやお便りによるお手伝いも大歓迎です。）

問合せ先

平塚市役所みどり公園課

電話:0463-23-1111 内線 2176・2515

メール:midori@city.hiratsuka.kanagawa.jp



訃報。。。。。。去る4月、長らく本会の理事にて

監査役をお務めいただいていた前朝霧公園愛護会会長の河野庫之助さまが永眠されました。ここに御冥福をお祈りすると共に、謹んでお知らせ申し上げます。

